

# 令和5年度ぐんま“いきいきファーマー”研修会 開催要領

## 1 目的

農業を取り巻く環境は、農業従事者の減少や高齢化の進展、国際的な経済情勢を反映した生産コストの急騰など、農業経営の安定にとって多くの問題を抱え、厳しい状況にあります。認定農業者をはじめとする地域農業の担い手が、このような環境の変化に的確に対応し、経営を発展させていくには、生産技術、労働力の確保、生産物のPRや販売対策など、農業活動に関するそれぞれの部門毎に、改善を図っていく必要があります。

そこで、今後の認定農業者連絡協議会の構成員の経営改善につなげるため、表題の研修会を、以下のとおり開催します。

- 2 主催 群馬県担い手育成総合支援協議会（JA群馬中央会、（一社）群馬県農業会議、群馬県）  
共催 群馬県認定農業者連絡協議会

## 3 日時

令和6年2月7日（水）  
14：00～16：00

## 4 開催方法

現地及びオンライン（ハイブリッド形式）

## 5 場所

群馬県JAビル10階第4会議室（群馬県前橋市亀里町1310）

- 6 対象者 県内認定農業者、農業関係機関職員等

## 7 申込方法・期間

QRコード又は下記URLよりお申込みください。  
上記方法でお申込みできない方は、申込用紙をご記入の上、  
メール又はFAXにてお申込みください。  
申込みは、令和6年1月26日（金）までです。  
<申込みURL>※ぐんま電子申請受付システム



[https://apply.e-tumo.jp/pref-gunma-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=17053](https://apply.e-tumo.jp/pref-gunma-u/offer/offerList_detail?tempSeq=17053)

## 8 内 容

群馬県認定農業者連絡協議会の構成員の中から、農業経営の改善に取り組んでいる経営体を講師として招き、それぞれの経営体が、これまで取り組んできた生産、販売並びにブランド化等に関する取組について、事例紹介いただきます。

|     |  |      |
|-----|--|------|
| 演 題 | 「群馬県農業の魅力」   | ※順不同 |
| 講 師 | (1) 畑 裕樹氏 (はた農園) : 伊勢崎市<br>(2) 山口 あきら氏 (上州百姓 米達磨 (こめだるま)) : 藤岡市<br>(3) 都丸 悟氏 (株式会社トマルファーム) : 渋川市 |      |

### プロフィール

#### (1) 畑 裕樹氏 (作目: ミニトマト) 非農家出身、新規就農者

伊勢崎市生まれ。大学卒業後、父が経営する製造業メインの人材派遣(業務請負)会社グランテック入社。現在取締役。

2009年、同社内で新規に農業部門立ち上げ。3年後にミニトマト栽培・販売の「はた農園」(伊勢崎市除ヶ町)として独立。「伊勢崎市青年農業者の会」会長。伊勢崎商工会議所青年部入会は2005年。副会長3年、監事を経て2020年4月会長へ。

#### (2) 山口 あきら氏 (作目: 米・大麦・小麦・大豆等) 有機栽培

大学工学部を卒業後、カナダで約10年、東南アジアで3年間河川と防災の仕事に携わる。

2015年の結婚を機に、夫・俊樹氏が新規就農した群馬県藤岡市に移住。営農サポートに加え、企画や経営、営業、地域交流など幅広く担当している。多文化・異文化交流を大切にしており、田んぼを通じた活動(例、田植え会や味噌仕込み会等)で地域交流を行っている。

2023年7月には藤岡市農業委員会会長職務代理に就任し、女性、若者、移住者、有機農業などの地域農業の少数派の声を届け、地域の新たな可能性の模索と振興活動に携わっている。

#### (3) 都丸 悟氏 (作目: 露地野菜(レタス等)) 大規模経営

渋川市生まれ。大学卒業後は、商社に勤務。梅農家であった父親の体調不良をきっかけに、25歳で農家への転身を決めた。

就農研修の際、レタス栽培を意識し始め、過疎地での大規模農園を展開できる産業だと感じ、露地野菜の栽培を始めた。現在、レタス40ha、トウモロコシ12ha、長ネギ8ha等栽培。

## 9 その他

申込者には、前日までに配信 URL 等をメールでお知らせします。

## 10 問い合わせ先

群馬県担い手育成総合支援協議会 (事務局: 群馬県農業構造政策課)

電話: 027-226-3024 FAX: 027-225-0096

E-mail: noukouka@pref.gunma.lg.jp